

受付番号

59

許可番号

大歯医倫 第 111086 号

研究課題名

医療保健学部生の英語力の現状と英語に関する意識調査

研究責任者

和唐 雅博

申請者

寺島 雅子

研究終了日

2024 年 3 月 31 日

所属

医療保健学部
口腔保健学科

所属

医療保健学部
口腔保健学科

職名

教授

職名

助手

申請の概要

近年の国際化により訪日外国人数は増加傾向にある。医療機関を受診する外国人患者も年々増え、それに伴う問題として言語トラブルが厚生労働省の調査で報告されている。また、同調査において日本語でのコミュニケーションが難しい外国人患者の対応に一番多く使用されている言語は英語であった。歯科医療においても同様の事態と考え、今後、歯科技工士および歯科衛生士は英語コミュニケーション能力を身につけることが求められると推測する。しかし、外国人患者に対応できる英語コミュニケーション能力を備えた歯科技工士および歯科衛生士は多いとは言えず、養成校での歯科医学英語教育は重要性を増すと考える。本学では英語を 1 年次では選択科目として 1 科目、2 年次では必修科目として 2 科目履修し、外国人患者に対応できる実践的な歯科医学英語や英語でのプレゼンテーション力を身につけることを到達目標としている。しかし、現状として学生は歯科技工士および歯科衛生士にとって英語力を身につける必要性をあまり感じていない、または必要性を感じていても意欲的でないのではないかと推測する。

本研究は医療保健学部生を対象に英語に関する意識調査および英語力試験を行うことにより、英語力を身につけることを困難にしている要因や問題点、英語力の現状を把握し、関係を調べる。そこから歯科医学英語教育における学生のニーズを明らかにすることが目的である。

本研究により学生のニーズを明らかにできれば、効果的な学修支援が出来るようになり、学生の英語力を身につけることに対する意欲向上と学修効果が期待される。また、英語力を身につけることに意欲的で、能力が高い学生の育成により、国際化が進む医療の現場に貢献できる歯科技工士および歯科衛生士を送り出す可能性も期待できる。